

## 平成25年 早春に考える(2013.3.10)

この冬の雪は、多いですね。

裏の庭には、隣の二階建ての屋根の高さを越えた雪がそれこそ“やま”となって積み重なっております。

ダンプで運んでもらう手間を必要としないので、助かっておりますが、でも大変ですね。

“節分”や“雨水”と言われる日を過ぎても、24時間の降雪量が52cmであったと記録を残しているようです。

立春を過ぎたからドカ雪は無いだらうとの淡い期待は消え去ってしまいました。

でも、もう少しの辛抱です。

満開に咲く桜を思い浮かべ、日々の雪片付けをストレスとしないで、過ごしています。

昨年暮れの選挙以来、円安傾向になったり株価が上がったりして、関係者は喜んでいるようですが、一方では、ガソリン、石油などの高騰と生活にも、影響を及ぼしております。

デフレの克服を政策の第一に据えての構えは、とにかく生活基盤が安定しない期間が長引くようだと、我々庶民の日常は落ち着かないですね。

ちょっと暗い話になるけど、自分としては是非知っておいて欲しい事です。

任務で、関わっていることから知り得た事と言っても自分が関与した話です。

実は、90歳を数えているにもかかわらず、自ら生を絶った方がこの地区(尾花沢、大石田)に、二人もいました。

長生きしたことが災いになったのかとも考えました。

要するにご自分の居場所が無くなってしまったということのようです。

一つ屋根の下に家屋がいても、話が出来る場が無ければ、孤独の世界に漂っている事なのです。

国が進める在宅医療、在宅での看取り、当事者であるご本人の事は蔑(ないがしろ)で、中身は、お金とか、利便とかの尺度で考えているだけなのです。どうしたら良いですか？

来月号を是非時間を取って読んで戴ければ、幸いです。

来月、よろしく。お楽しみに！！

院長 清治 邦夫